

協定 仕様書	協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	7年度の主な実績	評価結果		市の評価																																																																																						
					市	委員会																																																																																							
政策的医療																																																																																													
協22 仕第7	救急医療																																																																																												
	24時間365日の第二次救急医療体制を組む 休日急病診療に協力する	・現状の日勤常勤医師1名と初期臨床研修医、夜勤常当直医師と待機医師の体制を強化していき、24時間断らない救急医療を整えていく。 ・令和7年度においても引き続き、地域医療機関(診療所など)に対し、当院における救急受け入れ可能診療科や当直・待機体制などの情報提供を行うなど連携を密に取り、診療所の診療時間内や休日急病診療の運用時間内の紹介患者診療時間の拡大により、積極的に受け入れていく。 目標値 時間外患者数 7,164人 救急搬送件数 2,750件	地域医療機関への情報提供の実施状況 救急患者数 救急搬送件数 救急医療体制の状況 休日急病診療実績	・令和6年度の年末年始はインフルエンザが大流行し、風邪症候群などの対応に苦慮したため、令和7年度は多治見市医師会と協力して、医師会の先生方には一次救急を、当院は救急車や二次救急の対応に専念して診療を行った。 ・救急搬送件数は前年度比11.4%減となったが、今後も積極的な受け入れに取り組んでいく。 ・土曜日の夜間(主に土曜19時～21時半)55日実施96人(前年度:54日実施114人) ・休日急病診療(主に日祝の13時～17時)71日実施1,067人(前年度:71日実施1,524人)	<table><tr><td></td><td>R5実績</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td><td>前年比</td></tr><tr><td>時間外患者数</td><td>11,786</td><td>9,451</td><td>6,541</td><td>-30.8%</td></tr><tr><td>救急搬送件数</td><td>2,446</td><td>2,646</td><td>2,345</td><td>-11.4%</td></tr></table>		R5実績	R6実績	R7実績	前年比	時間外患者数	11,786	9,451	6,541	-30.8%	救急搬送件数	2,446	2,646	2,345	-11.4%	○ (○)	○ (○)	①時間外患者数、救急搬送件数ともに前年度を下回った。特に時間外患者数は前年度比30.8%と大きく減少した。 ②土曜日夜間の診療、休日急病診療についても、患者数は前年度を下回った。 ③令和6年度の年末年始は、新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザの同時流行により患者急増、一次救急の対応に追われたため、市医師会に協力を要請。令和7年度の年末年始(12/30～1/3)は、市医師会医師が市民病院に勤務し、救急医療体制を堅持した。 【委員会意見】令和7年度の年末年始について、市医師会に協力を要請し、市医師会医師が市民病院に勤務することで救急医療体制を堅持し、評価する。																																																																						
	R5実績	R6実績	R7実績	前年比																																																																																									
時間外患者数	11,786	9,451	6,541	-30.8%																																																																																									
救急搬送件数	2,446	2,646	2,345	-11.4%																																																																																									
	小児医療																																																																																												
	小児医療(小児救急医療を含む)を実施する	・日曜日や祝日にも日直体制で小児科医を配置し、発熱、咳、下痢といった小児に多い急性疾患や地域の小児科診療機関からの紹介患者を積極的に受け入れていく。 ・かぜ症候群といった小児に多い急性期疾患から、慢性期の疾患、夜尿症やてんかん、喘息やアトピー性皮膚炎などの疾患、どこに相談してよいかわからない様々な子どもに係わるケースなどに対応する医療を提供していく。 ・引き続き、常勤医の増員にも努めていく。 ・引き続き岐阜県医師会の学校検診委員会に所属し広く地域に貢献していくと共に、小児腎臓専門医による多治見市児童の腎臓病の早期発見システムの構築に努めるなど診療の質の向上に努めていく。 目標値 小児外来患者数 5,119人 小児入院患者数 40人	患者数 土日及びオンコール等の体制整備状況	・多治見市民病院は土曜診療も実施しており、発熱、咳、嘔吐、下痢などの症状を訴える小児に多い急性疾患や地域の小児医療機関からの紹介患者の受け入れを行った。 ・日曜、祝日の 8:30～17:00の間も、小児科医による日直体制を継続し実施した。 ・岐阜県医師会の学校検診委員会に所属し広く地域に貢献していくと共に、小児腎臓専門医による多治見市児童の腎臓病の早期発見に努めるなど診療の質の向上に努めている。	<table><tr><td></td><td>R5実績</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td><td>前年比</td></tr><tr><td>小児外来患者数</td><td>5,546</td><td>5,158</td><td>4,188</td><td>-18.8%</td></tr><tr><td>小児入院患者数</td><td>89</td><td>42</td><td>58</td><td>38.1%</td></tr></table>		R5実績	R6実績	R7実績	前年比	小児外来患者数	5,546	5,158	4,188	-18.8%	小児入院患者数	89	42	58	38.1%	○ (△)	○ (△)	①日勤帯においては、365日対応できる体制をとっており、地域の小児医療機関からの紹介患者の受入も行っている。 ②常勤医師は小児腎臓専門医であり、質の高い医療の提供が可能となっている。 ③令和4年度から常勤医師が1名になっており、外来患者数は年々減少しているが、入院患者数は前年度を上回った。 【委員会意見】多治見市も含めて出生数の減少、小児の時間外受診率が高いなど小児医療を取り巻く社会環境を考慮し、評価は○とする。																																																																						
	R5実績	R6実績	R7実績	前年比																																																																																									
小児外来患者数	5,546	5,158	4,188	-18.8%																																																																																									
小児入院患者数	89	42	58	38.1%																																																																																									
	リハビリテーション医療																																																																																												
	運動器リハビリテーション、回復期リハビリテーション医療を提供する	・引き続き急性期から回復期に及ぶ総合リハビリの提供を目的とし、病棟・地域連携と連携を取り、患者様の生活に即した各疾患別リハビリを行う。 ・令和8年には東濃中部医療センターが開設予定のため、今までの紹介元が縮小となる。休日の回復期リハビリテーションを行うなど差別化を図ることで回復期病棟の充実を目指したい。 目標値 リハビリテーション 136,200	リハビリテーションの体制 リハビリテーション実施件数	・昨年度は職員3名(理学療法士2名、作業療法士1名)の増員と2名(理学療法士)の途中退職で実質1名の職員増となった。 ・昨年度に続き、隔週日曜日の回復期リハビリテーション病棟でのリハビリも施行したが、単位数は昨年の47,047単位から45,936単位へ減少となった。 ・回復期リハビリテーション病棟の平均入院患者数が41.0/日から36.9/日へと減少、脳血管疾患患者も11.0/日から6.9/日へと減少を認めた。それによる理学・作業・言語の3療法介入件数の減少が要因と考える。 ・リハビリ全体では、件数は昨年より約1,129件減少、単位数も6,996単位減少した。病院全体での入院患者数の減少が影響したと考える。	<table><tr><td colspan="6">※数値は単位数(1単位20分)</td></tr><tr><td>種類</td><td></td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="2">運動器リハビリ</td><td>理学療法</td><td>15,352</td><td>11,279</td><td>20,647</td><td>16,916</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>1,898</td><td>2,466</td><td>3,432</td><td>3,923</td></tr><tr><td rowspan="2">脳血管リハビリ</td><td>理学療法</td><td>3,639</td><td>4,137</td><td>6,476</td><td>5,244</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>2,933</td><td>2,977</td><td>3,519</td><td>4,602</td></tr><tr><td rowspan="3"></td><td>言語聴覚療法</td><td>1,867</td><td>2,564</td><td>3,185</td><td>3,993</td></tr><tr><td>理学療法</td><td>18,000</td><td>25,572</td><td>26,958</td><td>25,223</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>4,606</td><td>6,626</td><td>7,767</td><td>8,729</td></tr><tr><td rowspan="2">廃用リハビリ</td><td>言語聴覚療法</td><td>7,259</td><td>10,640</td><td>14,149</td><td>12,715</td></tr><tr><td>がんリハビリ</td><td>516</td><td>666</td><td>1,430</td><td>1,317</td></tr><tr><td></td><td>心疾患リハビリ</td><td>5,795</td><td>7,661</td><td>6,856</td><td>7,188</td></tr><tr><td></td><td>回復期リハビリ</td><td>48,748</td><td>53,381</td><td>47,047</td><td>45,936</td></tr><tr><td></td><td>呼吸器リハビリ</td><td>941</td><td>1,691</td><td>1,599</td><td>640</td></tr><tr><td></td><td>合計</td><td>111,554</td><td>129,660</td><td>143,065</td><td>136,426</td></tr></table>	※数値は単位数(1単位20分)						種類		R4	R5	R6	R7	運動器リハビリ	理学療法	15,352	11,279	20,647	16,916	作業療法	1,898	2,466	3,432	3,923	脳血管リハビリ	理学療法	3,639	4,137	6,476	5,244	作業療法	2,933	2,977	3,519	4,602		言語聴覚療法	1,867	2,564	3,185	3,993	理学療法	18,000	25,572	26,958	25,223	作業療法	4,606	6,626	7,767	8,729	廃用リハビリ	言語聴覚療法	7,259	10,640	14,149	12,715	がんリハビリ	516	666	1,430	1,317		心疾患リハビリ	5,795	7,661	6,856	7,188		回復期リハビリ	48,748	53,381	47,047	45,936		呼吸器リハビリ	941	1,691	1,599	640		合計	111,554	129,660	143,065	136,426	○ (○)	○ (○)	①病院全体で入院患者数が減少したことが影響し、リハビリテーション全体で前年度を下回ったが、目標値(136,200)を上回った。 ②令和5年度に祝日に、さらに令和6年度は隔週日曜日に回復期リハビリテーションを開始し、患者のQOL向上をサポートした。 ③直営時代には対応していなかった作業療法、脳血管リハビリの分野も実施し、リハビリ機能は充実している。 ④県病院からの回復期患者の受入を積極的に行っている。
※数値は単位数(1単位20分)																																																																																													
種類		R4	R5	R6	R7																																																																																								
運動器リハビリ	理学療法	15,352	11,279	20,647	16,916																																																																																								
	作業療法	1,898	2,466	3,432	3,923																																																																																								
脳血管リハビリ	理学療法	3,639	4,137	6,476	5,244																																																																																								
	作業療法	2,933	2,977	3,519	4,602																																																																																								
	言語聴覚療法	1,867	2,564	3,185	3,993																																																																																								
	理学療法	18,000	25,572	26,958	25,223																																																																																								
	作業療法	4,606	6,626	7,767	8,729																																																																																								
廃用リハビリ	言語聴覚療法	7,259	10,640	14,149	12,715																																																																																								
	がんリハビリ	516	666	1,430	1,317																																																																																								
	心疾患リハビリ	5,795	7,661	6,856	7,188																																																																																								
	回復期リハビリ	48,748	53,381	47,047	45,936																																																																																								
	呼吸器リハビリ	941	1,691	1,599	640																																																																																								
	合計	111,554	129,660	143,065	136,426																																																																																								
	保健衛生事業																																																																																												
	生活習慣病の予防・早期発見を目的とした人間ドック、内視鏡ドック、健康診査、保健指導、医療相談等、保健衛生に関する事業を実施する 乳房、骨密度など女性を対象とした検診を実施する 予防接種を行う	・人間ドック、脳ドック、健康診断等の基本的な業務は引き続き実施するとともに、婦人科、乳房、骨密度など女性を対象とした検診にも力を入れていく。 ・単に検査の結果判定の報告だけでなく、詳細な説明を行うとともに、生活習慣や健康維持に対する保健指導を積極的に実施する。 ・検診結果で要精密検査となった方の二次受診の状況を把握し、未受診の方へは受診勧奨を行い、病気の早期発見・治療に務めていく。 ・予防接種事業については、必要に応じて集団予防接種を実施することとし、糖尿病教室や公開健康講座等はこれまでどおり継続しを行い、市民の健康づくりに寄与する。 目標値 検診件数 14,407件	健診等の実施件数 保健指導・相談件数 予防接種の実施状況	・令和7年度はシステム導入による影響もあり、昨年度と比較し受診者数は1割減となったが、オプション検査等の追加検査について広報及び事前案内を積極的に行い、充実した健診を進めてきた。 ・引き続き生活習慣病の予防・早期発見のための保健指導、受診者に合った健診コースの提案、乳がん検診、子宮がん検診に加えてWEB予約対象の検診拡大などに取り組んでいく。	<table><tr><td>項目</td><td>R4年度実績</td><td>R5年度実績</td><td>R6年度実績</td><td>R7年度実績</td></tr><tr><td>人間ドック</td><td>323</td><td>323</td><td>269</td><td>279</td></tr><tr><td>脳ドック</td><td>434</td><td>442</td><td>396</td><td>318</td></tr><tr><td>肺がんドック</td><td>27</td><td>20</td><td>21</td><td>13</td></tr><tr><td>乳がんドック</td><td>176</td><td>156</td><td>118</td><td>81</td></tr><tr><td>企業健診</td><td>4,398</td><td>4,370</td><td>4,447</td><td>3,522</td></tr><tr><td>協会健保</td><td>2,667</td><td>2,819</td><td>2,915</td><td>2,863</td></tr><tr><td>健康診断</td><td>139</td><td>236</td><td>316</td><td>293</td></tr><tr><td>特定健診</td><td>914</td><td>860</td><td>928</td><td>816</td></tr><tr><td>市職</td><td>1,278</td><td>1,295</td><td>1,366</td><td>1,353</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>787</td><td>1,492</td><td>1,327</td><td>1,240</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>1,206</td><td>1,346</td><td>1,243</td><td>1,158</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>478</td><td>393</td><td>408</td><td>356</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>525</td><td>400</td><td>401</td><td>367</td></tr><tr><td>その他検診</td><td>366</td><td>255</td><td>286</td><td>257</td></tr><tr><td>合計</td><td>13,718</td><td>14,407</td><td>14,441</td><td>12,916</td></tr></table> 保健指導件数 98 特定保健指導件数 6	項目	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	人間ドック	323	323	269	279	脳ドック	434	442	396	318	肺がんドック	27	20	21	13	乳がんドック	176	156	118	81	企業健診	4,398	4,370	4,447	3,522	協会健保	2,667	2,819	2,915	2,863	健康診断	139	236	316	293	特定健診	914	860	928	816	市職	1,278	1,295	1,366	1,353	子宮がん検診	787	1,492	1,327	1,240	乳がん検診	1,206	1,346	1,243	1,158	大腸がん検診	478	393	408	356	胃がん	525	400	401	367	その他検診	366	255	286	257	合計	13,718	14,407	14,441	12,916	○ (○)	○ (○)	①令和7年度に電子カルテシステム導入による影響もあり、健診実施件数は前年度を下回り、目標件数である14,407件も下回った。 ②オプション検査等の追加検査について積極的にPRし、充実した健診を進めた。 ③健康診断後の保健指導の実施、二次受診率の向上対策など、市民の健康維持への貢献を進めている。					
項目	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績																																																																																									
人間ドック	323	323	269	279																																																																																									
脳ドック	434	442	396	318																																																																																									
肺がんドック	27	20	21	13																																																																																									
乳がんドック	176	156	118	81																																																																																									
企業健診	4,398	4,370	4,447	3,522																																																																																									
協会健保	2,667	2,819	2,915	2,863																																																																																									
健康診断	139	236	316	293																																																																																									
特定健診	914	860	928	816																																																																																									
市職	1,278	1,295	1,366	1,353																																																																																									
子宮がん検診	787	1,492	1,327	1,240																																																																																									
乳がん検診	1,206	1,346	1,243	1,158																																																																																									
大腸がん検診	478	393	408	356																																																																																									
胃がん	525	400	401	367																																																																																									
その他検診	366	255	286	257																																																																																									
合計	13,718	14,407	14,441	12,916																																																																																									

協定 仕様書		協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	7年度の主な実績	評価結果		市の評価																			
						市	委員会																				
	災害時医療	災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出並びに被災地への医師・看護師の派遣が可能な体制の整備に努める	・災害時医療の拠点病院として、ヘリポートをはじめ必要な診療設備を整備し災害発生時には傷病者の受け入れが速やかに行えるようになっている。 ・災害時医療に対するマニュアルを整備し、医療従事者に対し年間を通して定期的に災害医療に対する研修をする。 ・災害発生時に必要な救急用医薬品、衛生材料及び医療機材、トリアージ・タグ等を整備し、災害時における救護班の編成及び傷病者の受入れが速やかに行えるよう医療要員の非常召集体制を構築していく。	研修の実施状況 訓練の実施状況	・災害時医療の拠点病院として、ヘリポートをはじめ必要な診療設備を整備し災害発生時には傷病者の受け入れが速やかに行えるようになっている。 ・BCP(事業継続計画)を策定し、医療従事者に対し災害時医療の研修を定期的に実施している。	○ (○)	○ (○)	①トリアージ訓練を実施し、災害発生時に備えた対応を実施している。 ②BCPの見直しを適宜行っている。 ③災害時医療の研修を定期的に開催している。 ④救急医薬品、衛生材料費等を備蓄し、災害に備えた体制を整備している。																			
地域医療連携 協23 仕第8	地域医療機関との連携・協力、地域医療の質向上のための取組み																										
	地域医療連携室を設置する	左記の協定事項の着実な実施	紹介患者数(率)	・紹介率46.6%、逆紹介率37.8%。 ・実習受け入れ(中部国際医療学院47人、中部学院大学8人、中京学院大学15人、多治見市医師会准看護学校27人)合計97人 ・年間を通して医学生延べ30名受け入れ。 ・R1.4月より基幹型研修病院となり、研修医5名が入職。R7年度末時点で研修医9名。 ・多治見准看護学校に職員派遣(4人8回) ・高齢者施設に特定行為看護師派遣(4施設各施設週1回巡回) ・地域連携バスの件数:脳卒中25件、大腿骨21件 ・開放型病棟の実績:0件	○ (○)	○ (○)	①紹介率・逆紹介率については、30%以上を維持、前年度及び目標値を大きく上回ることができ、二次医療として機能、地域医療との連携が進んだ。 ②県立多治見病院との間に救急ホットラインを設置し、相互連携を図っている。また、地域医療機関(開業医)との連携強化にも取り組んでいる。 ③研修医の受入れを積極的に行い、令和7年度末の臨床研修医は9人となっている。市民病院での研修を希望する学生も年々多くなっている。 ④実習生の受入れ、准看護学校への職員派遣など、地域に貢献している。また、外国人技能実習生の受入れを積極的に行っている。 ⑤令和元年から開始した特定行為看護師による周辺高齢者施設への定期巡回を継続的に行い、切れ目のない医療を受けられるネットワークを構築している。																				
	患者や市民への地域医療に対する啓発活動、情報提供活動等、地域医療全体の質を向上させる取組みを行う	開業医との信頼関係醸成(時間外の紹介、CT、MRI等の対応)	実施した啓発活動																								
	医師、看護師、医療技術職員等の養成課程等のための実習及び研修病院として、学生等の受入れを積極的に行う。	目標値として紹介率37.0%、逆紹介率28.0%	実習の実績(対象、受入人数、実習内容等)																								
	研修医の実習場所として、取り組む		職員の派遣実績																								
	養成学校等に職員を講師として派遣する		症例検討会等の実施実績																								
	開業医との症例検討会等を実施し、地域の医療の質の向上に努める																										
	市民参加の促進																										
	医療情報、経営情報等の情報公開の推進を図る	左記の協定事項の着実な実施	広報の実績 イベントの開催実績	・広報たじみに連載コラム「地域と共に考える医療」(毎月)を掲載。 ・広報たじみ8月号に「医療の現場に聞く、熱中症対策」として病院長のインタビューを掲載。 ・広報たじみ2月号に糖尿病教室開催を掲載。 ・広報たじみ3月号に健康ウォーキングを掲載。 ・運営会議他25委員会を随時行った。	○ (○)	○ (○)	①ホームページによる診療案内、生活情報誌(おりべくらぶ等)を利用した医師の紹介、診療情報提供等を行った。 ②「広報たじみ」に毎月連載コラムを掲載し、診療情報の提供など積極的な広報活動を行っている。 ③「広報たじみ」8月号において、病院長による客観的な指標を基にした熱中症対策を特集し、市民に実践しやすい予防法を紹介 ④ケーブルテレビでの放送や院内放送、Youtube配信など、積極的な広報活動を行った。 ⑤市民向けに各種予防講座を実施、病気予防の理解を深めた。 ⑥地区公民館で予防医療講座等を実施した。 ⑦園児・児童による演奏会を行うなど地域交流を深め、また患者・家族などの心のケアに繋がった。																				
	病院ホームページの開設、広報誌の発行など病院広報やアンケートなどの広聴を積極的に行う			<table><tr><th>No</th><th>内容</th><th>開催月</th><th>タイトル・内容</th></tr><tr><td>1</td><td>予防医療講座</td><td>8月</td><td>理学療法士による暑い夏を乗り切るための体力維持エクササイズ講座</td></tr><tr><td>2</td><td>小学生による鼓笛隊合奏</td><td>11月</td><td>昭和小学校児童による鼓笛隊合奏</td></tr><tr><td>3</td><td>幼稚園児・小学生による合唱</td><td>12月</td><td>昭和小学校附属幼稚園児及び昭和小学校児童によるクリスマス演奏会</td></tr><tr><td>4</td><td>予防医療講座</td><td>2月</td><td>理学療法士による転倒等による怪我の予防や免疫力の低下を少しでも防ぐために家の中で出来る筋トレ講座</td></tr></table>	No	内容	開催月	タイトル・内容	1	予防医療講座	8月	理学療法士による暑い夏を乗り切るための体力維持エクササイズ講座	2	小学生による鼓笛隊合奏	11月	昭和小学校児童による鼓笛隊合奏	3	幼稚園児・小学生による合唱	12月	昭和小学校附属幼稚園児及び昭和小学校児童によるクリスマス演奏会	4	予防医療講座	2月	理学療法士による転倒等による怪我の予防や免疫力の低下を少しでも防ぐために家の中で出来る筋トレ講座	○ (○)	○ (○)	
No	内容	開催月	タイトル・内容																								
1	予防医療講座	8月	理学療法士による暑い夏を乗り切るための体力維持エクササイズ講座																								
2	小学生による鼓笛隊合奏	11月	昭和小学校児童による鼓笛隊合奏																								
3	幼稚園児・小学生による合唱	12月	昭和小学校附属幼稚園児及び昭和小学校児童によるクリスマス演奏会																								
4	予防医療講座	2月	理学療法士による転倒等による怪我の予防や免疫力の低下を少しでも防ぐために家の中で出来る筋トレ講座																								
	市の施策協力																										
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)第5条第8項に規定する短期入所、多治見市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための条例(平成18年条例第42号)第4条第2項第3号に規定する日中一時支援事業の提供事業者となる	左記の協定事項の着実な実施	利用実績	・のべ0人	△ (△)	△ (△)	①新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、令和7年度の実績は0である。 ②今後の受入体制について検討いただきたい。																				
	介護保険事業等高齢福祉に協力する																										
	介護老人保健施設、介護老人福祉施設の協力病院となる	左記の協定事項の着実な実施	協力病院となっている施設の一覧	・9施設(陶生苑、浩養園、ベルツリー、みらい、さわやか長楽荘、さわやかナーシングみたけ等)	○ (○)	○ (○)	①市内介護施設の協力病院となっている。また、市外にある介護施設との連携強化にも取り組んでいる。 ②総合医療相談室を設置し、医療相談を実施。 ③市の高齢福祉課や福祉課、居宅介護支援事業所等と連携し、退院後の施設紹介等を実施している。																				
	医療相談室を設置し、市の高齢福祉担当及び居宅介護支援事業所との連携を図る		医療相談件数	・医療相談件数 1,200件																							
施設等の維持管理																											
協26,31 仕第11	施設の維持管理	施設管理計画書・・・施設箇所ごとに法令検査又は自主検査計画	施設管理計画の実施状況	法令又は自主検査を適正に実施 【主な施設】 毎月検査施設 6(エレベーター等) 年2～4回検査施設 8(空調設備等) 年1回検査施設 19(電気設備等) ※地下タンク貯蔵所の清掃は3年に1度。令和6年度に実施、次回は令和9年度に実施予定。	○ (○)	○ (○)	①設備の保守点検等施設管理は適切に実施されている。 ②医療機器については、令和7年度は電子カルテシステム、大動脈バルーンポンプ一式、高周波手術装置などを購入した。																				
	患者安全を第一に考え、施設機能面から診療に寄与する施設の維持・管理を行う																										
	衛生管理、感染防止に基づく維持・管理を行う																										
	病院施設として予防保全に努める																										
				【参考】 ① 収益合計5,321,273千円(入院収益3,207,244千円 外来収益1,614,027千円等) ② 費用合計5,294,403千円(給与費2,952,939千円 材料費908,326千円 経費1,130,441千円 等) ①－②＝26.870千円(利益(運営支援補助金を含む))	—	—	①新型コロナウイルスが5類感染症に移行により、コロナに関連する補助金にはなくなったが、前年度に引き続き黒字額を計上 ②平成29年度以降、9年連続で黒字決算を継続しており、大変な経営努力が行われている。																				